

モデル 107154-1

MINI
MAVOK®

TRAXXAS

取扱説明書

導入

3あなたの前に
進む

4安全性
予防

7ツール、部品、
そして必須
装置

8解剖学
ミニマックス

9クイックスタート:
起きる
スピードを上げる

10トラクサス TQ
2.4GHz無線
システム

19調整
電子
スピードコントロール

21運転する
モデル

24調整
あなたのモデル

26維持
あなたのモデル

Traxxas Mini Maxx® をお買い上げいただきありがとうございます。過剰に構築され、過剰に作られた Mini Maxx は、Maxx シリーズの極度の耐久性と猛烈なパワーを再現し、バックパックに収まるプラットフォームに再パッケージ化されています。Mini Maxx は 1/16 スケールの車両とサイズは似ていますが、Traxxas の最も頑丈な 1/10 スケールのモンスタートラックのパワーと強度を備えています。信頼性の高い BL-2s® ブラシレスパワーと耐久性を備えた Mini Maxx は、スロットルを引くたびに容赦なく加速し、時速 30 マイルを超える猛スピードを実現します。

新しいモデルを走らせるのが楽しみなのはわかりますが、時間をかけてこのオーナーズ マニュアルをじっくり読むことが非常に重要です。このマニュアルには、モデルを操作およびメンテナンスするために必要な手順が記載されており、今後何年も楽しむことができます。このマニュアルには、Traxxas のエンジニアがモデルに設計したパフォーマンスと可能性を最大限に引き出すために必要なセットアップおよび操作手順もすべて記載されています。

経験豊富な R/C 愛好家であっても、このマニュアルの手順を読んでそれに従うことが重要です。

Traxxas をお選びいただき、誠にありがとうございます。当社は、お客様に可能な限り最高レベルの顧客満足をお届けできるよう、日々努力しております。お客様に新しいモデルを楽しんでいただきたいと心から願っております。

FCC 準拠

このデバイスには、FCC 規則のパート 15 に記載されているクラス B デジタル デバイスの制限に準拠したモジュールが含まれています。操作には次の 2 つの条件が適用されます: (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる必要があります。

クラス B デジタル デバイスの制限は、住宅環境における有害な干渉に対する適切な保護を提供するように設計されています。この製品は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って操作しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。準拠の責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、ユーザーの機器の操作権限が無効になる可能性があることに注意してください。

カナダ、カナダ産業省 (IC)

このクラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 および RSS-210 に準拠しています。このデバイスは、カナダ産業省のライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。操作には、次の 2 つの条件が適用されます。このデバイスは干渉を引き起こしてはならず、また、このデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

無線周波数 (RF) 曝露に関する声明

この機器は、FCC およびカナダ産業省が規定する、制御されていない環境における無線周波数の曝露制限に準拠しています。この機器は、放射体と使用者または周囲の人との間の距離を最低 20 センチメートル離して設置および操作する必要があり、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり運動させて操作したりしてはなりません。

動作周波数: 2406~2453 MHz
最大無線周波数電力: 最大ピーク電力 -1 dBm

トラクサスのサポート

Traxxas のサポートは、あらゆる段階でお客様をサポートします。お問い合わせ方法とサポート オプションについては、次のページを参照してください。

クイックスタート

このマニュアルは、モデルをできるだけ短時間で起動して実行するために必要な手順を概説したクイックスタート パスで設計されています。経験豊富な RC 愛好家であれば、このマニュアルが役立ち、すぐに理解できるでしょう。



重要な安全、メンテナンス、調整手順について理解するために、マニュアルの残りの部分を必ずお読みください。まず 9 ページをご覧ください。

モデルの登録

お客様により良いサービスを提供するために、ご購入後 10 日以内に Traxxas.com/register で製品をオンライン登録してください。

[Traxxas.com / 登録](https://www.traxxas.com/register)

続行する前に

モデルに重大な損傷が生じないように、本書および付属資料に記載されているすべての指示をよく読み、それに従ってください。指示に従わない場合は、乱用または怠慢とみなされます。

モデルを動作させる前に、このマニュアル全体に目を通し、モデルを注意深く調べてください。何らかの理由で、モデルが希望どおりでないかと判断した場合は、それ以上進めないでください。ホビー ディーラーは、動作させた後のモデルの返品や交換を一切受け付けません。

警告、役立つヒント、相互参照

このマニュアル全体を通して、以下のアイコンで識別される警告と役立つヒントがあります。必ずお読みください。



個人の安全や回避に関する重要な警告
モデルおよび関連コンポーネントが損傷する可能性があります。



物事をもっと簡単に、もっと楽しくするための Traxxas からの特別な
アドバイス。



関連するトピックのページを参照します。

サポート

モデルまたはその操作についてご質問がある場合は、Traxxas テクニカル サポート ラインのフリーダイヤルまでお電話ください。
1-888-トラクサス (1-888-872-9927)*

テクニカル サポートは、中央標準時の午前 8:30 から午後 9:00 まで、週 7 日間ご利用いただけます。テクニカル サポートは Traxxas.com でもご利用いただけます。ご質問は、support@Traxxas.com 宛てに電子メールでカスタマー サポートにお送りいただくこともできます。Traxxas.com のオンライン コミュニティには、何千人もの登録メンバーがいます。ぜひご参加ください。

Traxxas は、お客様のあらゆる Traxxas サービス ニーズに対応するフル サービスのオンサイト修理施設を提供しています。メンテナンスおよび交換部品は、電話またはオンラインで Traxxas.com から Traxxas に直接購入できます。地元の販売店から交換部品を購入すれば、時間と送料および手数料を節約できます。

製品サポートに関するご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。新しいモデルに心からご満足いただきたいと考えております。

トラクサス

6250トラクサスウェイ。
マッキーニー、テキサス州 75070
電話: 972-549-3000
フリーダイヤル 1-888-TRAXXAS

インターネット

トラクサス

電子メール: support@Traxxas.com

全コンテンツ ©2024 Traxxas。

Traxxas、Ready-To-Race、Ready-To-Win、Mini Maxx、BL-2s、ProGraphix は、Traxxas の商標または登録商標です。

その他のブランド名およびマークはそれぞれの所有者の財産であり、識別目的にのみ使用されます。このマニュアルのいかなる部分も、Traxxas の書面による明示的な許可なしに、印刷物または電子メディアで複製または配布することはできません。仕様は予告なく変更されることがあります。

*フリーダイヤルサポートは米国居住者のみご利用いただけます。

安全上の注意



このマニュアルに記載されているすべての指示と注意事項は、

安全を確保するためにモデルの操作。



このモデルは、責任感と知識のある大人の監督なしに 18 歳未満の子供が使用することを想定していません。



ラジコンの経験なし

モデルは必須です。
モデルには、最小限のセットアップ、メンテナンス、またはサポート機器が必要です。

Traxxas のスタッフ一同は、お客様が新しいモデルを安全に楽しんでいただけるようお願いいたします。モデルを賢明かつ慎重に操作すれば、お客様自身と周囲の人々にとって刺激的で安全、そして楽しいものになります。モデルを安全かつ責任ある方法で操作しないと、物的損害や重傷につながる可能性があります。安全な操作を保証するために、この製品に提供されている、または入手可能な注意事項と指示に厳密に従ってください。指示が守られ、注意事項が順守されているかどうかは、お客様ご自身で確認する必要があります。

覚えておくべき重要なポイント

- このモデルは、歩行者や車両の交通と衝突したり、妨げたりする可能性のある公道や混雑したエリアでの使用を想定していません。
- いかなる状況でも、人混みの中でモデルを操作しないでください。
あなたのモデルは非常に速く、衝突すると怪我をする可能性があります
誰でも。
- モデルは無線で制御されるため、制御できない多くの発生源からの無線干渉の影響を受けます。無線干渉により無線制御が一時的に失われる可能性があるため、衝突を防ぐために、常にモデルの周囲の全方向に安全マージンを確保してください。
- モーター、バッテリー、スピードコントロールは使用中に熱くなることがあります。火傷をしないように注意してください。• 夜間
や、モデルへの視線が遮られたり、視界が妨げられる可能性があるときは、モデルを操作しないでください。
- 最も重要なことは、常に良識を働かせることです。

スピードコントロール

モデルの電子速度制御 (ESC) は、高電流を供給できる非常に強力な電子デバイスです。速度制御やその他のコンポーネントの損傷を防ぐために、以下の注意事項に厳密に従ってください。

- バッテリーを取り外します: 使用していないときは、必ずスピード コントロールからバッテリーを取り外してください。• 配線を絶縁します: 露出した配線は必ず熱収縮チューブで絶縁し、ショートを防止してください。
- 最初に送信機をオンにします: 暴走や不安定なパフォーマンスを防ぐため、速度制御をオンにする前に、まず送信機をオンにします。
- 火傷をしないように注意してください: ESC とモーターは使用中に非常に熱くなることがありますので、冷めるまで触らないように注意してください。冷却のために十分な空気の流れを供給してください。
- 工場出荷時に取り付けられたコネクタを使用してください。バッテリーとモーターのコネクタは変更しないでください。不適切な配線は火災や ESC の損傷の原因となります。改造されたスピード コントローラーは、修理のために返却されたときに再配線料金がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 逆電圧なし: ESC は逆極性電圧に対して保護されていません。• ショットキー ダイオードなし: 外部ショットキー ダイオードは、逆速度制御と互換性がありません。Traxxas 速度制御でショットキー ダイオードを使用すると、ESC が損傷し、30 日間の保証が無効になります。
- オーナーズマニュアルの仕様表に記載されている速度制御の最小および最大制限を常に遵守してください。

**火災の危険!**

この車両には LiPo バッテリーが必要
です。バッテリーの充電および放電は、指示に従って実行しないと、火災、爆
発、重傷、および物的損害を引き起こす可能性があります。さらに、リチウムポリマー (LiPo) バ
ッテリーは、指示に従って適切に取り扱われないと、火災の重大なリスクを伴い、長寿命で
安全な操作のために特別な注意と取り扱い手順が必要です。LiPo バッテリーは、LiPo バッテリー
の使用に伴うリスクについて教育を受けた上級ユーザーのみを対象としています。Traxxas は、
18 歳未満の方が、知識と責任のある大人の監督下で LiPo バッテリー パックを使用したり扱
ったりすることを推奨しません。これらの警告を理解していない場合は、LiPo バッテリーを充電また
は使用しないでください。使用済みのバッテリーは、指示に従って処分してください。

• お使いのモデルでは、LiPo バッテリーを使用する必要があります。LiPo バッテリーには、超えて
はならない最小安全放電電圧しきい値があります。電子制御モジュール (ECM) には、LiPo
バッテリーが最小電圧 (放電) しきい値に達したときにドライバーに警告する低電圧検出機
能が組み込まれています。バッテリー パックが安全最小しきい値を下回るまで放電しないよ
うに、直ちに停止するのはドライバーの責任です。

• 低電圧検出は、LiPo バッテリーを安全に使用するための包括的な計画の一部に
すぎません。LiPo バッテリーを安全かつ適切に充電、使用、保管するには、すべて
の指示に従うことが重要です。LiPo バッテリーの使用方法を理解していることを確
認してください。LiPo バッテリーの使用について質問がある場合は、地元のホビ
ー デイラーに相談するか、バッテリーの製造元にお問い合わせください。すべての
バッテリーは、耐用年数が経過したらリサイクルする必要があることに注意してくださ
い。

• 付属の Traxxas iD バッテリーを充電するには、Traxxas iD® LiPo バランス充電器のみを
使用してください。LiPo バッテリーの充電には、NiMH または NiCad タイプの充電器や充
電モードを使用しないでください。LiPo バッテリーを NiMH 専用充電器で充電しないでく
ださい。NiMH または NiCad 充電器や充電モードを使用すると、LiPo バッテリーが損傷し、
火災、人身傷害、および/または物的損害を引き起こす可能性があります。

• LiPo バッテリー パックを直列または並列で充電しないでください。パックを直列または並列で充
電すると、充電器のセルの認識が不適切になり、充電速度が不適切になり、過充電、セルの不
均衡、セルの損傷、火災につながる可能性があります。

警告! 注意! 危険!

• 充電する前に、必ず LiPo バッテリーを注意深く点検してください。緩んだリード
線やコネクタ、損傷したワイヤ絶縁体、損傷したセル パッケージ、衝撃による
損傷、液漏れ、膨張 (内部損傷の兆候)、セルの変形、ラベルの紛失、その他の損傷や異常がな
いか確認してください。

これらの状態が見られる場合は、バッテリー パックを充電したり使用したりしないでください。
バッテリーに付属の廃棄手順に従って、バッテリーを適切かつ安全に廃棄してください。

• LiPo バッテリーを他の LiPo バッテリーを含むあらゆるタイプの他のバッテリーやバッテ
リー パックと一緒に保管したり、その近くで充電したりしないでください。
• バッテリーパックは涼しく乾燥した場所に保管および輸送してください。
直射日光の当たる場所に保管しないでください。車のトランクなど、保管温度が 140°F
(60°C) を超える場所に保管しないでください。セルが損傷し、火災の危険が生じる可能性があり
ます。• LiPo バッテリーまたはセルを分解しないでください。

• バラのセルから独自の LiPo バッテリー パックを作ろうとしないでください。

• 充電する前に、必ず充電器の設定を確認してください。
充電するバッテリーのタイプ (化学組成、仕様、構成と正確に一致していることを確認
してください。製造元が推奨する最大充電速度を超えないでください。• 内部
充電回路または保護回路があるバッテリー、製造元の
元の構成から変更されたバッテリー、またはラベルが欠落しているか判読できないため
バッテリーのタイプと仕様を正しく識別できないバッテリーは充電しないでくださ
い。• Traxxas iD バッテリーを充電するには、必ず Traxxas iD 充電器を使用してく
ださい。

• 露出したバッテリーの接点やワイヤーが互いに接触しないようにしてください。
これにより、バッテリーがショートし、火災の危険が生じます。
• 充電中または放電中は、バッテリー (すべての種類のバッテリー) を難燃性/耐火性の容器に入
れ、コンクリートなどの不燃性の表面に置いてください。

• 自動車内でバッテリーを充電しないでください。また、自動車の運転中にバッテリーを
充電しないでください。

• 木材、布、カーペット、その他の可燃性素材の上でバッテリーを充電しないでくださ
い。

• バッテリーは必ず換気の良い場所で充電してください。
• 充電エリアから可燃物や可燃性物質を取り除いてください。

(前ページからの続き)

- 充電中、放電中、または充電器がオンでバッテリーが接続されているときは、充電器とバッテリーを放置しないでください。故障の兆候がある場合や緊急の場合は、充電器を電源から外し、バッテリーを充電器から外してください。
- 充電器を雑然とした場所で使用したり、充電器やバッテリーの上に物を置いたりしないでください。
- バッテリーまたはバッテリーセルが何らかの形で損傷している場合は、バッテリーを充電、放電、または使用しないでください。
- 火災に備えてクラス D 消火器を近くに置いてください。
- バッテリーを分解したり、押し潰したり、ショートさせたり、炎やその他の発火源にさらしたりしないでください。有毒物質が放出される可能性があります。目や皮膚に付着した場合は、水で洗い流してください。
- 充電中にバッテリーが触れるほど熱くなった場合（温度が 110°F / 43°C を超える場合）、すぐにバッテリーを充電器から取り外し、充電を中止してください。
- 実行の合間にバッテリーパックを冷まします（充電前）。
- 使用していないときは必ず充電器を抜き、バッテリーを外してください。
- モデルを使用していないときや保管または輸送しているときは、必ず電子制御モジュール (ECM) からバッテリーを取り外してください。
- 充電器を分解しないでください。
- 充電する前に、モデルまたはデバイスからバッテリーを取り外してください。
- 充電器を水や湿気にさらさないでください。屋内でのみ使用してください。
- いかなる種類のアダプタも使用しないでください。また、バッテリーのプラグ/コネクタを改造または変更しないでください。
- バッテリーパックは必ず子供やペットの手の届かない安全な場所に保管してください。子供がバッテリーを充電したり取り扱ったりする際には、必ず大人の監督が必要です。
- 常に注意して、常識を持って行動してください。

ツール、備品、必要な機器

モデルには、特殊なメトリック ツールのセットが付属しています。モデルの操作とメンテナンスを行うには、ホビー ディーラーから入手できるその他のアイテムを購入する必要があります。

提供されるツールと機器



2.5mm 「L」レンチ



2.0mm 「L」レンチ



1.5mm 「L」レンチ



4ウェイレンチ



プリロードスペーサー
とショックピストン



3500mAh 7.4V 2セル iD[®]
LiPoバッテリー*



iD[®] LiPo バランス充電器 (2 セル
iD[®] LiPo のみ)*

必要な装備

(別売)



単3アルカリ電池4本
電池



USB-C電源アダプタとケーブル
(詳細は13ページをご覧ください)



電池の詳細については、13 ページ
の「適切な電池の使用」を参照してく
ださい。



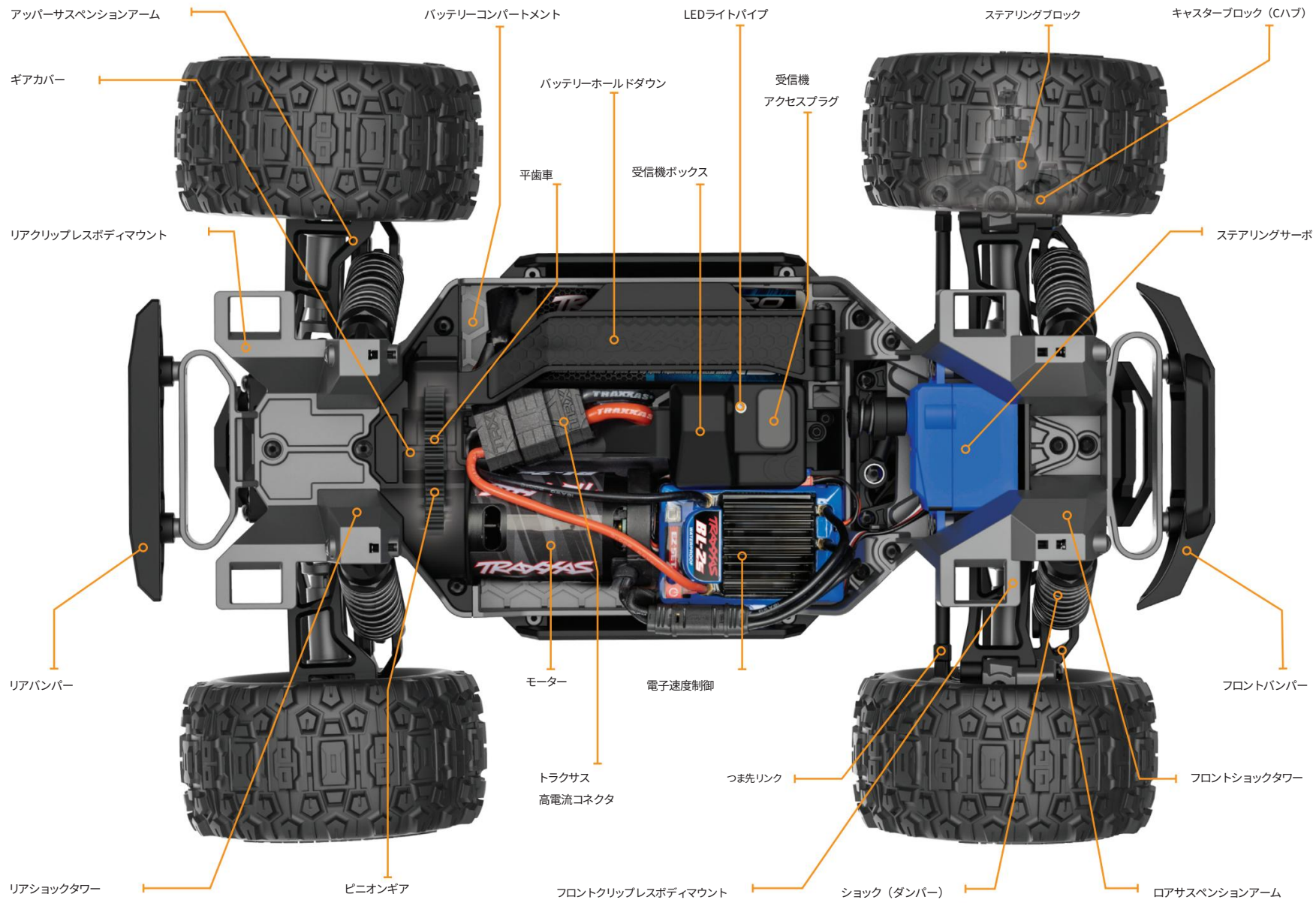
推奨機器

これらのアイテムはモデルの操作に必
須ではありませんが、RC ツールボ
ックスに含めることをお勧めします。


- 安全メガネ
- Traxxas ウルトラプレミアムタイヤ
接着剤、部品番号 6468 (CA 接着剤)
- ホビーナイフ
- サイドカッターおよび/またはニードル
ノーズプライヤー

*バッテリーと充電器のスタイルは変更される場合があります、画像と異なる場合があります。

MINI MAXXの構造



クイックスタート: スピードアップ

 次のガイドは、モデルを実行するための手順の概要です。クイック スタート ページの下部にあるクイック スタート ログを探してください。

1. 4 ~ 6 ページの安全に関する注意事項をお読みください。

安全のため、不注意や誤用により人身事故が発生する可能性があることを理解してください。

6. サーボの動作を確認する • 17 ページを参照

ステアリングサーボが正しく動作していることを確認してください。

2. バッテリー パックを充電します。 • 13 ページを参照してく

ださい。他のセットアップ手順を完了するときにすぐに使用できるように、今すぐバッテリーを充電してください。

7. 無線システムの範囲テスト • 17 ページを参照

この手順に従って、無線システムが離れた場所でも正常に動作し、外部からの干渉がないことを確認します。

3. 送信機に電池を入れます。 • 13 ページを参照してください。

送信機には単三アルカリ電池または充電式電池 4 本 (別売) が必要です。

8. モデルを運転する • 21 ページを参照

あなたのモデルに合った運転のヒントと調整。

4. バッテリーパックをモデルに取り付けます。 • 15 ページを参照してください。

付属のバッテリーパックをモデルに取り付けます。

9. モデルのメンテナンス • 26 ページを参照

モデルのパフォーマンスを維持し、優れた動作状態を維持するには、次の重要な手順に従ってください。

5. ラジオシステムをオンにする • 16 ページを参照

送信機を最初にオンにし、最後にオフにする習慣をつけましょう。



クイック スタート ガイドは、このマニュアルに記載されている完全な操作手順に代わるものではありません。モデルの適切な使用とメンテナンスに関する完全な手順については、このマニュアル全体をお読みください。

クイック スタート ページの下部にあるクイック スタート ログを探します。



TRAXXAS TQ 2.4GHz 無線システム

導入

モデルには、TQ 2.4GHz 送信機が付属しています。電源を入れると、TQ 2.4GHz は自動的に利用可能な周波数を見つけてロックし、周波数の衝突なしに複数のモデルを一緒にレースすることができます。電源を入れて運転するだけです。付属の TQ 2.4GHz 無線システムは工場モデル用にプログラムされており、調整は必要ありませんが、モデルの適切な動作を維持するためにアクセスする必要がある設定があります。このマニュアルに含まれる詳細な手順 (16 ページ) は、新しい TQ 2.4GHz 無線システムの機能を理解して操作するのに役立ちます。詳細情報とハウツー ビデオについては、Traxxas.com にアクセスしてください。

無線および電力システムの用語

無線および電源システムに関するこれらの用語をよく理解しておいてください。これらの用語はこのマニュアル全体で使用されます。

BEC (バッテリーエリミネーター回路) - BECは、
受信機または ESC にこの回路を組み込むと、電動モデルのメイン バッテリー パックから受信機とサーボに電力を供給できます。これにより、無線機器に電力を供給するために 4 本の AA 電池を別途持ち運ぶ必要がなくなります。

ブラシレス モーター - AD/C ブラシレス モーターは、ブラシ付きモーターの従来の整流子とブラシの配置を、電磁巻線を順番に通電して回転させるインテリジェントな電子機器に置き換えたものです。ブラシ付きモーターとは対照的に、ブラシレス モーターの巻線 (コイル) はモーター カンの周囲にあり、磁石は回転するローター シャフトに取り付けられています。

コギング - コギングはブラシレス モーターに時々見られる症状です。通常、停止状態から加速するときを感じるわずかなスタッターです。これは、電子速度制御とモーターからの信号が互いに同期するため、非常に短い期間発生します。BL-2 の電子速度制御は、コギングを事実上排除するように最適化されています。

電流 - 電流は、電気の流れの尺度です。

電子機器の電流は、通常アンペアで測定されます。電線を庭のホースと考えると、電流はホースを流れる水の量を表します。

ESC (電子速度制御) - 電子速度制御は、モデル内の電子モーター制御です。BL-2の電子速度制御は、高度な回路を使用して、正確なデジタル比例スロットル制御を提供します。電子速度制御は、

機械式速度制御よりも効率的に電力を供給するため、バッテリーの寿命が長くなります。電子速度制御には、バッテリーの充電がなくなったときにステアリングとスロットルの制御が失われるのを防ぐ回路も備わっています。

周波数帯域 - 送信機がモデルに信号を送信するために使用する無線周波数。このモデルは、2.4GHz 直接拡散スペクトルで動作します。

kV 定格 - ブラシレス モーターは、多くの場合、kV 数によって定格が付けられます。

kV 定格は、1 ボルトを印加した状態での無負荷モーターの回転数に相当します。モーターのワイヤの巻き数が減るにつれて、kV は増加します。

kV が増加すると、電子機器を流れる電流も増加します。BL-2s 3300 モーターは、軽量 1/10 スケール モデルで最高の速度と効率を得られるように最適化された 3300 kV モーターです。

LiPo - リチウムポリマーの略称。充電式 LiPo バッテリー パックは、コンパクトなサイズで非常に高いエネルギー密度と電流処理を可能にする特殊な化学的性質で知られています。これらは、特別な注意と取り扱いを必要とする高性能バッテリーです。LiPo バッテリー パックは、上級ユーザー専用です。

mAh - ミリアンペア時間の略称で、バッテリーパックの容量の単位です。数値が高いほど、充電間隔が長くなります。

ニュートラル位置 - 送信機のコントロールがニュートラル設定のときにサーボが目指す静止位置。

NiMH - ニッケル水素の略称。充電式 NiMH バッテリーは、高電流処理が可能で、「メモリ」効果に対する耐性があるかに優れています。NiMH バッテリーは、通常、NiCad バッテリーよりも容量が大きく、最大 500 回の充電サイクルに耐えることができます。最適なパフォーマンスを得るには、NiMH バッテリー用に設計されたピーク チャージャーが必要で

受信機 - 送信機からの信号を受信してサーボに中継するモデル内の無線ユニット。

抵抗 - 電氣的な意味では、抵抗は物体が電流の流れにどの程度抵抗するか、または妨げるかを示す尺度です。

流れが制限されると、エネルギーは熱に変換され、失われます。

Velineon 電源システムは、電気抵抗と、その結果生じる電力を奪う熱を減らすように最適化されています。

ローター- ローターはブラシレスモーターの主軸です。

ブラシレスモーターでは、磁石はローターに取り付けられ、電磁巻線はモーターハウジングに組み込まれています。

センサー付き- センサー付きとは、モーター内部のセンサーを使用してローターと通信するタイプのブラシレスモーターを指します。

位置情報を電子速度制御に戻します。

センサーレス- センサーレスとは、電子速度制御からの高度な指示を使用してスムーズな動作を実現するブラシレスモーターを指します。追加のモーターセンサーや配線は必要ありません。BL-2s 電子速度制御は、スムーズなセンサーレス制御に最適化されています。

サーボ- ステアリングを操作するモデル内の小型モーターユニット機構。

送信機- スロットルと

モデルへのステアリング指示。

トリム- ニュートラル位置の微調整

サーボは、送信機の表面にあるステアリング トリム ノブを調整することによって作成されます。

サーマル シャットダウン保護- 電子速度制御で使用される温度感知電子機器で、トランジスタ回路の過負荷と過熱を検出します。過度の温度が検出されると、電子機器の損傷を防ぐためにユニットは自動的にシャットダウンします。

2チャンネル無線システム- TQ無線システムは、

受信機、送信機、サーボ。システムは 2 つのチャンネルを使用します。1 つはスロットルを操作するチャンネル、もう 1 つはステアリングを操作するチャンネルです。

2.4GHz スペクトラム拡散- このモデルには最新の RC 技術が搭載されています。周波数水晶を必要とし、周波数の衝突が発生しやすい AM および FM システムとは異なり、TQ 2.4GHz システムは、空いている周波数を自動的に選択してロックし、干渉や「グリッチ」に対する優れた耐性を提供します。

電圧- 電圧は電位差の尺度である

2 点間、たとえばバッテリーのプラス端子とアース間などです。庭のホースの例えで言うと、電流はホース内の水の流れの量ですが、電圧はホースを通して水を押し出す圧力に相当します。

重要な無線システムの注意事項

- 受信機のアンテナ線をねじらないでください。アンテナ線のねじれは範囲が狭くなります。
- 受信機のアンテナ線を切断しないでください。アンテナを切断すると範囲が狭くなります。• 範囲を最大にするには、モ

デル内のアンテナ線を可能な限り延長してください。アンテナ線をボディの外に延長する必要はありませんが、アンテナ線を巻き付けたり巻いたりすることは避けてください。

- アンテナ線はアンテナチューブ内に設置する必要があります。切断や損傷から保護し、範囲を狭めないようにします。アンテナ ワイヤをアンテナ チューブに取り付ける際は、アンテナ チューブ キャップに押し付けてワイヤをねじらないように注意してください。アンテナ ワイヤは、キャップのすぐ下または 1/2 インチ以内まで伸びている必要があります。

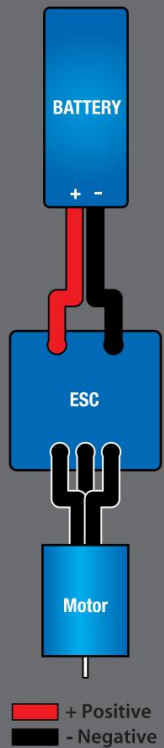


無線範囲の損失を防ぐため、黒いワイヤを曲げたり切ったりしないでください。また、金属の先端を曲げたり切ったりしないでください。また、金属の先端の端にある白いワイヤを曲げたり切ったりしないでください。



正解 いいえ いいえ いいえ

BL-2s 配線図

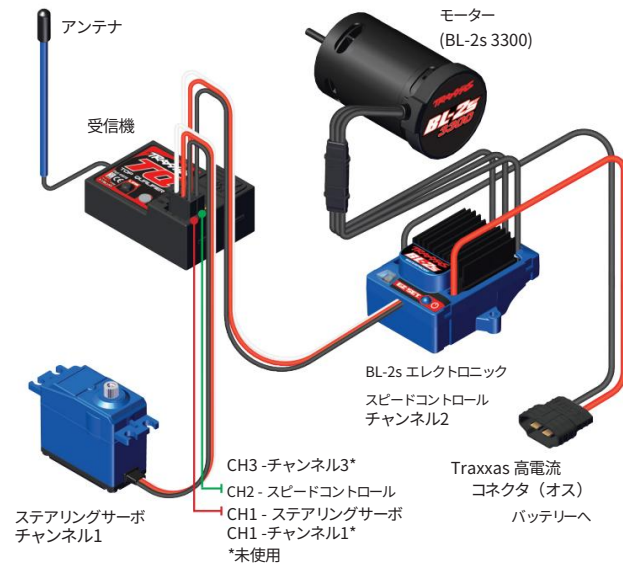


モデルにはTraxxas TQ 2.4GHzトランスミッターが搭載されています。
送信機には2つのチャンネルがあります。チャンネル1はステアリングを操作し、チャンネル2はスロットルを操作します。モデル内の受信機には3つの出力チャンネルがあります。モデルには1つのサーボと電子速度制御が装備されています。

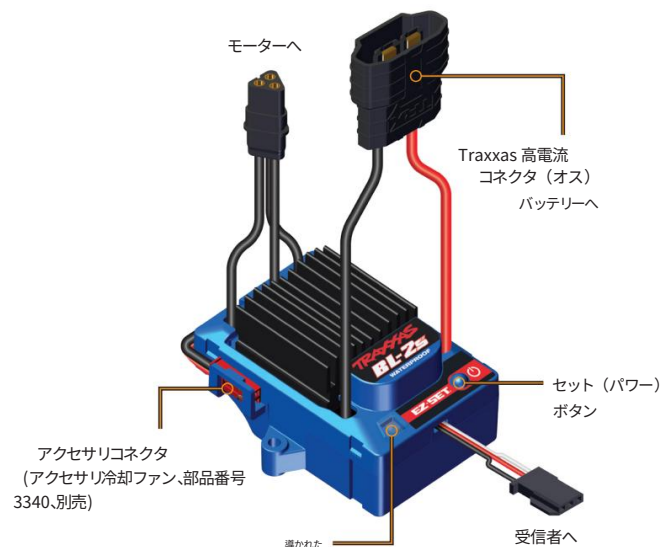
送信機と受信機



モデル配線図



BL-2S 電子スピードコントロール



送信機の電池の取り付け

TQ 2.4GHz 送信機は 4 本の AA 電池を使用します。電池ボックスは送信機のベースにあります。



1. タブを押してドアをスライドさせて開き、バッテリー コンパートメント ドアを取り外します。
2. 電池を正しい向きで取り付けます。
電池ボックス。
3. 電池室のドアを再度取り付け、カチッと閉めます。
4. 送信機の電源を入れ、ステータスLEDが点灯していることを確認します。
緑色の信号。

ステータスLEDが赤く点滅する場合は、送信機の電池が弱っているか、放電しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。新しい電池または充電した電池と交換してください。ステータスLEDは、モデルに取り付けられている電池パックの充電レベルを示すものではありません。詳細については、18ページのトラブルシューティングのセクションを参照してください。送信機のステータス LED コードに関する情報。



バッテリーパックの充電



警告: 火災の危険!

付属のバッテリー充電器は、Traxxas iD® 2 セル LiPo (2s) バッテリー専用設計されています。従来の Traxxas 高電流コネクタはこの充電器と互換性がありません。従来のコネクタを充電コネクタに無理に差し込まないでください。
この充電器で NiMH バッテリーを充電しないでください。
充電器とバッテリーの間にはいかなる種類のアダプターも使用しないでください。充電器またはバッテリーコネクタを改造しないでください。

ニッケル金属は使用しないでください

このモデルには水素化物 (NiMH) バッテリーが付属しています。バッテリーが非常に熱くなり、損傷や怪我が発生する可能性があります。

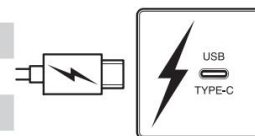
推奨電源アダプタと電源ケーブル

部品番号説明

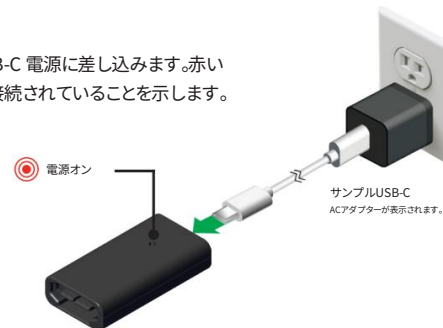
2912* 電源アダプタ、AC、USB-C (45W)

2916* 電源ケーブル、USB-C、100W (高出力)

*別売り



USB-C ケーブルを USB-C 電源に差し込みます。赤い LED が点灯し、電源が接続されていることを示します。



充電を開始するには、Traxxas iD 2 セル LiPo (2s) バッテリーを充電器に接続します。



TQ送信機

ステータス LED が緑色に点灯しない場合は、電池の極性を確認してください。充電式電池が完全に充電されているかどうかを確認してください。LED から他の点滅信号が見られる場合、18 ページの表を参照してコードを確認してください。



適切な電池を使用する

送信機には単三電池を使用します。送信機には、新しいアルカリ電池 (部品番号 2914) または NiMH (ニッケル水素) 電池などの充電式電池を使用してください。

充電式電池が説明書に従って完全に充電されていることを確認してください。製造元の指示。

送信機に充電式電池を使用する場合は、充電が切れ始めると、通常のアルカリ電池よりも早く電力が失われることに注意してください。

注意: 制御不能にならないように、電池が弱くなった兆候 (赤色の点滅) が見られたらすぐにモデルの実行を中止してください。



バッテリーID
Traxxas 推奨のバッテリー バックに
は、Traxxas Battery iD が搭載されていま
す。この独自の機能により、Traxxas バッテリ
ーチャージャー (別売) は接続された
バッテリー バックを自動的に認識し、バッテリー
の充電設定を最適化します。これにより、チャ
ージャーの設定やメニューについて心配する
必要がなくなり、最も簡単で安全な充
電ソリューションが実現します。

この機能と利用可能な Traxxas
iD 充電器およびバッテリーの詳細に
ついては、Traxxas.com をご覧ください。



チャージの進行状況

✖1	緑色のフラッシュ 1	0 - 25% 充電済み
✖2	回 緑色のフラッシュ 2 回	25% - 50% 請求
✖3	3回の緑色の点滅	50% - 75% 充電済み
✖4	4回の緑の点滅	75%以上充電
●	緑色のLEDが点灯	100%充電済み



LED表示	意味	
●	赤色LED点灯	充電準備完了
✖	ゆっくり点滅する緑色のLED	充電中 (充電進捗状況チャートを参照)
●	緑色のLEDが点灯	バッテリーが完全に充電されました
✖	赤色LEDが点滅	充電器エラー

エラーのクリア

バッテリーまたは電源アダプターに問題がある場合は、充電器の LED が赤く点滅しま
す。以下のエラー コードと推奨される解決策を参照してください。エラー コードが繰り返
返される場合、またはクリアされない場合は、Traxxas カスタマー サポートにお問い合わせ
ください。

LED表示	意味	解決
✖1	電源エラー	バッテリーとUSB-C電源を外します。 電源の互換性を確認してください。
✖2	バッテリー電圧が高すぎる か低すぎる	バッテリーを外して使用を中止してください。
✖3	充電器のタイマーが切れまし た	バッテリーを外します。バッテリーが熱い場合 は、充電器の使用を中止します。バッテリーが熱くない場合 は、再度接続して充電を続けます (低出力電源に接続し た場合にこの現象が発生することがあります)。
✖4	充電器の内部温度が高すぎ ます	充電器を外して充電器を許可する 冷やす。
✖5	検出されたバッテリーは充電 器の設定と一致しませ ん	バッテリーを外してください。バッテリーは充 電器と互換性がありません。
✖6	USB-C電源が供給される前 にバッテリーを充電器に接 続します	バッテリーを外し、充電器の赤色 LED が点灯するまで待つ てからバッテリーを再接続します。
✖	充電器が内部エラーを検出 しました	バッテリーと電源アダプターを外します。 充電器の使用を中止してください。

充電のヒント

- バッテリーを接続する前に、充電器を USB-C 電源に接続する必要があります。
USB-C 電源に接続する前にバッテリーを接続すると、充電器にエラーが表示され
ます (赤い LED が 6 回点滅し、これを繰り返します)。修正するには、バッテリーと充電器を外しま
す。充電器を USB-C 電源に接続し、充電するバッテリーを接続します。

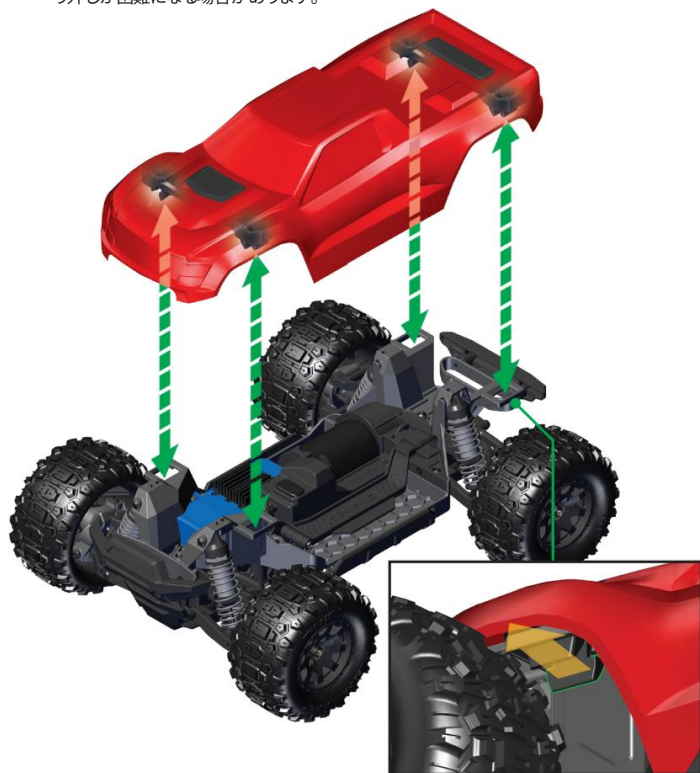
- 充電器が動作するには、USB-C ソースから 10W 以上の出力が必要です。

- 充電出力電流は、USB-C 電源から供給される電力によって異なります。最大充電速度を確保す
るには、定格 20 ワット以上で、Quick Charge 3.0 (QC 3.0) と互換性のある USB-C 電
源を使用してください。Traxxas USB-C AC 電源アダプター (部品番号 2912) と電源
ケーブル (部品番号 2916) は、充電器からフル充電出力を供給するように設計されています。

ボディの取り外しと取り付け

シャーシにアクセスするために本体を取り外すには:

1. トラックのボディの下に手を伸ばし、ラッチをトラックのボディの外側に取り外して、フロントとリアのボディマウントから外します。
2. ラッチを押し上げて、マウントから完全に外します。
3. 本体をシャーシからまっすぐ持ち上げます。本体の前面と背面を均等に持ち上げないと、取り外しが困難になる場合があります。



本体を再インストールするには:

1. シャーシにボディを配置します。
バンパー付きのボディ。
2. ラッチが固定されるまで、各ラッチ位置で本体を押し下げます。

所定の位置にカチッと合います。

注意:クリップレス システムを正常に機能させるには、定期的には本体のラッチと、本体の前後のマウントのスロットを点検し、清掃してください。これらの部品に汚れやほこりがたまると、クリップレス システムがスムーズに動作しなくなります。

バッテリーパックの取り付け

バッテリー ワイヤがモデルの背面を向くようにして、バッテリー パックをトレイに置きます。

バッテリー固定具をシャーシの方向に回し、端後部の固定具にカチッと合込みます (ロックします)。
リターナー。



Traxxas 高電流コネクタ

このモデルには、Traxxas 高電流コネクタが装備されています。標準コネクタは電流の流れを制限し、電子速度制御の出力を最大化するために必要な電力を供給することができません。Traxxas コネクタの金メッキ端子は大きな接触面を備えており、最小の抵抗で正の電流の流れを確保します。安全で長持ちし、握りやすい Traxxas コネクタは、バッテリーから供給されるすべての電力を引き出すように設計されています。



アンテナの設置

受信アンテナは

工場から設置されています。アンテナは3x4mmのセットネジで固定されています。取り外すには

アンテナチューブを外すには、付属の 1.5mm レンチで止めネジを外すだけです。

アンテナを再度取り付ける際は、まずアンテナ線をアンテナチューブの底に差し込み、白い部分が

アンテナの先端は黒いキャップの下のチューブの上部にあります。

次に、アンテナ チューブをマウントに挿入し、アンテナ ワイヤがアンテナ マウントのスロットに入っていることを確認し、アンテナ チューブの横にある止めネジを取り付けます。付属の 1.5 mm レンチを使用して、アンテナ チューブがしっかりと固定されるまでネジを締めます。

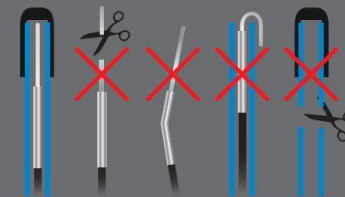
締めすぎないでください。アンテナ線を曲げたり、ねじったりしないでください。詳細については、サイドバーを参照してください。アンテナ チューブを短くしないでください。



モデルを操作する前に、モデルの受信アンテナが正しく取り付けられていることを確認してください。受信アンテナが正しく取り付けられていないと、無線範囲が大幅に減少し、制御が失われる可能性があります。



無線範囲の損失を防ぐため、黒いワイヤーを曲げたり切ったりしないでください。また、金属の先端を曲げたり切ったりしないでください。また、金属の先端の端にある白いワイヤーを曲げたり切ったりしないでください。



正解 いいえ いいえ いいえ



常に送信機を最初にオンにしてオフにする最後にあなたのモデル。



充電式電池の充電がなくなると、アルカリ乾電池よりもずっと早く消耗します。電池が弱くなった兆候が見られたら、すぐに使用を中止してください。電池パックが差し込まれているときは、送信機の電源を絶対に切らないでください。モデルが制御不能になる可能性があります。

無線システムコントロール



無線システム規則

- 送信機は必ず最初にオンにし、最後にオフにしてください。この手順により、モデルが別の送信機または他のソースから迷走信号を受信して制御不能になるのを防ぐことができます。あなたのモデルには、この種の故障を防ぐための電子フェイルセーフが装備されていますが、暴走モデルに対する最初の最善の防御策は、常に送信機を最初にオンにし、最後にオフにすることです。



- 無線システムには必ず新しい電池または充電したばかりの電池を使用してください。電池が弱くなると、受信機と送信機との無線信号が制限されます。無線信号が失われると、モデルを制御できなくなる可能性があります。

- 送信機と受信機を互いにバインドするには、モデルの受信機を20秒以内にオンにする必要があります。送信機の電源をオンにしてください。送信機の LED が赤く速く点滅し、リンクに失敗したことを示します。見逃した場合は、送信機の電源をオフにして最初からやり直してください。
- バッテリーを接続する前に必ず送信機の電源をオンにしてください。

無線システムの基本調整



ステアリングトリム

送信機の表面にあるステアリング トリム ノブは、ステアリング チャネルのニュートラル (中心) ポイントを調整します。ステアリング ホイールが中央にあるときにモデルが右または左に引っ張られる場合は、ステアリング ホイールが中央にあるときにモデルがまっすぐ走行するまでノブを回します。

チャンネル反転

TQ 2.4GHz 送信機は、モデルに適したサーボ方向設定でプログラムされているため、調整する必要はありません。これらの手順は、参考およびトラブルシューティングの目的としています。

チャンネルを反転すると、対応するサーボの方向が反転します。たとえば、ステアリング ホイールを右に回してモデルが左に曲がる場合、サーボの方向を修正するにはチャンネル 1 を反転する必要があります。必要に応じて、次の手順を使用してステアリング チャネルとスロットル チャネルを反転します。サーボの反転は、誤ってチャンネルの方向をリセットした場合にのみ必要です。必要がない限り、ステアリング チャネルまたはスロットル チャネルを反転しないでください。

ステアリング反転手順:

- 送信機のSETボタンを2秒間押し続けます。
ステータス LED が緑色に点滅します。
- ステアリングホイールを左端または右端まで回して保持します (どの位置を選択してもかまいません)。
- ステアリングホイールを所定の位置に保持したまま、SETを押します。
チャンネルを反転するボタン。
- チャンネルが反転しました。モデルを実行する前に、サーボの動作が正しいことを確認してください。

スロットル逆転手順:

注:スロットルのリバーシは、電動モデルでは不要場合が多くあります。スロットルの問題は、通常、速度制御を再プログラムするか、モーターの配線が正しいことを確認することで解決できます。以下の手順を使用してスロットル チャネルをリバーシする前に、まず速度制御を再調整する必要があります。19 ページの「BL-2s セットアッププログラミング」を参照してください。

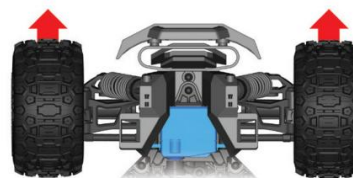
1. 送信機のSETボタンを2秒間押し続けます。
ステータス LED が緑色に点滅します。
2. スロットルトリガーを、完全に前進または完全にブレーキの位置まで動かして保持します (どの位置を選択してもかまいません)。
3. スロットルトリガーを所定の位置に保持したまま、SETボタンを押します。
チャンネルを反転します。
4. チャンネルが反転されました。モデルを実行する前に、速度制御を再調整し、サーボの動作が正しいことを確認してください。

無線システムの使用

TQ 2.4GHz 無線システムは、モデルで正しく動作するように工場で調整されています。輸送中に動いた場合に備えて、モデルを実行する前に調整を確認する必要があります。方法は次のとおりです。

1. 送信機のスイッチをオンにします。送信機のステータスLEDが点灯します。
緑色に点灯します (点滅ではありません)。
2. ブロックまたはスタンドの上にモデルを置き、すべてのタイヤが
地面から離れていることを確認してください。モデルの可動部分に手を触れないようにしてください。
3. モデルのバッテリーパックをスピードコントロールに差し込みます。
4. スピード コントロールの EZ-Set ボタンを押して放し、モデルをオンにします。スピードコントロールの LED が緑色に点灯します。スピード コントロールをオフにするには、LED が消えるまで EZ-Set ボタンを押します。注:スピード コントロールをオンにした後に LED が赤く点灯する場合は、低電圧検出が無効になっています。LiPo バッテリーを使用する場合は、必ず低電圧検出をオンにしてください。低電圧検出がオフになっているときは、LiPo バッテリーを使用しないでください。詳細については、19 ページを参照してください。
5. 送信機のステアリングホイールを前後に回して、ステアリングサーボが素早く動作するか確認します。また、ステアリング機構が緩んでいたり、固着していないか確認します。ステアリングの動作が遅い場合は、電池が弱っていないか確認します。

6. モデルを見下ろした時、前輪は真っ直ぐ前を向いている必要があります。車輪が
わずかに左または右に曲がっている場合は、送信機のステアリング トリム コントロールをゆっくりと調整して、まっすぐ前を向くようにします。



7. スロットル トリガーを操作して、前進と後進が完全に行えること、およびスロットル トリガーがニュートラルのときにモーターが停止することを確認します。
8. 調整が完了したら、モデルの電源をオフにし、
ハンドヘルド送信機。

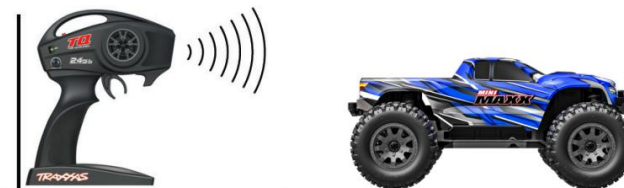
無線システムの範囲テスト

モデルで各実行セッションを実行する前に、無線システムの範囲テストを行って、正常に動作することを確認する必要があります。

1. 無線システムの電源を入れ、前のセクションで説明したように動作を確認します。
2. 友人に模型を持ってもらいます。模型の車輪やその他の可動部分に手や衣服が触れないように注意してください。
3. モデルを操作する予定の最長距離に達するまで、送信機を持ってモデルから離れます。
4. 送信機のコントロールをもう一度操作して、モデルが正しく応答することを確認します。
5. 問題がある場合はモデルを操作しないでください。
無線システムまたはお客様の所在地での無線信号への外部干渉が原因です。



TQ 2.4GHz 送信機には指向性アンテナが付いています。範囲を最大限にするには、送信機を垂直に持ち、モデルの方向に向けます。送信機をモデルから離すと、無線範囲が狭くなります。



リバーシの使用: 運転中に、スロットルトリガーを前方に押し、ブレーキをかけます。停止したら、スロットルトリガーをニュートラルに戻します。スロットルトリガーをもう一度前方に押し、比例後進を開始します。



フェイルセーフ

Traxxas無線システムには、信号が失われた場合にスロットルを最後に保存されたニュートラル位置に戻すフェイルセーフ機能が組み込まれています。フェイルセーフモードがオンになると、送信機と受信機のLEDが赤く点滅します。

フェイルセーフが作動した場合

モデルの操作中に信号損失の原因を特定し、問題を解決してからモデルを再度操作してください。

速度が速いほど距離が長くなる

模型を速く運転すればするほど、無線範囲の限界に近づくのが早くなります。最高速度では、模型は毎秒 25 ~ 100 フィートを移動できます。スリル満点ですが、模型を範囲内に収めるように注意してください。模型が最高速度に達するのを見たい場合は、トラックの走行エリアの端ではなく中央に立って、自分の位置に向かってトラックを運転し、自分の位置を通り過ぎるのがベストです。このテクニックは、無線範囲を最大化するだけでなく、模型を自分の近くに維持して、見やすく、制御しやすくします。

モデルの無線システムは、モデルを視認したり操作したりするのが困難になる距離まで、確実に動作するように設計されています。ほとんどのドライバーは、フットボール競技場 (300 フィート以上) よりも遠い距離では、モデルを視認したり操作したりするのに苦労します。距離が長くなると、モデルを見失う可能性があり、無線システムの動作範囲を超えて、フェイルセーフシステムが起動する可能性もあります。モデルの視認性と操作性を最大限に高めるには、利用可能な最大範囲に関係なく、モデルを 200 フィート以内に保ってください。

モデルをどれだけ速く、どれだけ遠くまで運転するかに関係なく、自分とモデル、および他の人との間に常に十分な距離を保ってください。自分や他の人に向かって直接運転しないでください。

送信機のLEDコード

LEDカラー/パターン	名前	注記
緑色	通常運転モード	送信機のコントロールの使用法については、16 ページを参照してください。
ゆっくり赤 (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	バインディング	バインディングの詳細については、このページを参照してください。
点滅する中程度の赤色 (0.25秒オン/0.25秒オフ)	バッテリー残量低下アラーム	送信機に新しい電池を入れてください。詳細については、13 ページを参照してください。
赤色の高速点滅 (0.125秒オン/0.125秒オフ)	リンク障害 / エラー	送信機と受信機はバインドされていません。システムの電源をオフしてから再度オンにすると、通常の操作が再開されます。リンク障害の原因 (範囲外、電池残量不足、アンテナの損傷など) を特定します。

TQ 2.4GHz バインディング手順

正しく動作させるには、送信機と受信機を電子的に「バインド」する必要があります。これは工場で行われています。

システムを再バインドしたり、追加の送信機または受信機にバインドしたりする必要がある場合は、次の手順に従ってください。注意:バインドするには受信機を 4.8 ~ 6.0 V (公称) の電源に接続する必要があります。送信機と受信機は互いに 5 フィート以内にある必要があります。

1. 送信機のSETボタンを長押しします。
2. 送信機の電源を入れ、SETボタンを離します。ステータス LED がゆっくりと赤色に点滅し、送信機がバインドモードになっていることを示します。
3. 受信機のLINKボタンを長押しします。
4. EZ-Setボタンを押してスピードコントロールをオンにし、LINKボタンを放します。
5. 送信機と受信機の両方の LED が緑色に点灯したら、システムはバインドされ、使用できる状態になります。モデルを運転する前に、ステアリングとスロットルが正しく動作することを確認してください。

受信機のLEDコード

LEDカラー/パターン	名前	注記
緑色	通常運転モード	送信機のコントロールの使用法については、16 ページを参照してください。
ゆっくり赤 (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	バインディング	バインディングの詳細については、このページを参照してください。
赤色の高速点滅 (0.125秒点灯 / 0.125 秒消灯)	フェイルセーフ/低電圧検出	受信機の電圧が一貫して低くフェイルセーフが作動し、電力が完全に失われる前にスロットルサーボを中央に配置するのに十分な電力が確保されます。

電子速度制御の調整

BL-2s™ バッテリー設定 (低電圧検出設定)

BL-2s 電子速度制御には、低電圧検出機能が組み込まれています。

低電圧検出回路は、バッテリー電圧を常に監視します。バッテリー電圧が LiPo バッテリーパックの最小推奨放電電圧しきい値に達し始めると、BL-2 は電力出力を 50% スロットルに制限します。

バッテリー電圧が最小しきい値を下回ろうとすると、BL-2 はすべてのモーター出力を停止します。速度コントロールの LED がゆっくりと赤く点滅し、低電圧シャットダウンを示します。BL-2 は、完全に充電されたバッテリーが接続されるまでこのモードのままになります。

モデルの電源を入れると、BL-2s スピード コントロールのステータス LED が緑色に点灯し、LiPo バッテリーの過放電を防ぐために低電圧検出がアクティブになっていることを示します。LiPo バッテリーは、LiPo バッテリーの使用に伴うリスクについて教育を受けた上級ユーザーのみを対象としています。



警告: 火災の危険!

低電圧検出が無効になっているこの車両では、LiPo バッテリーを使用しないでください。

低電圧検出設定を確認するには:

- 送信機をオンにします (スロットルはニュートラルの位置)。
- 完全に充電されたバッテリーパックを BL-2 に接続します。
- EZ-Set ボタンを押して放し、BL-2 をオンにします。LED が赤く点灯している場合は、低電圧検出が無効になっています (LiPo バッテリーの使用は安全ではありません)。LED が緑に点灯している場合は、低電圧検出がアクティブになっています。

低電圧検出を有効にするには (LiPo 設定) :

- BL-2 の LED が点灯し、赤色になっていることを確認します。
- EZ-Set ボタンを 10 秒間押し続けます。LED が消灯し、その後緑色に点灯します。また、モーターから「上昇」音が出ます。
- 低電圧検出がアクティブになりました。



低電圧検出を無効にするには (NiMH 設定) :

- BL-2 の LED が点灯し、緑色になっていることを確認します。
- EZ-Set ボタンを 10 秒間押し続けます。LED が消灯し、その後赤く点灯します。また、モーターから「下降」音が出ます。
- 低電圧検出が無効になりました。



このモデルではニッケル水素 (NiMH) 電池を使用しないでください。電池が非常に熱くなり、損傷や怪我が発生する可能性があります。



BL-2s ESCの送信機調整

BL-2s ESC をプログラムする前に、送信機が適切に調整されている (工場出荷時のデフォルトに戻されている) ことを確認することが重要です。そうしないと、速度制御から最高のパフォーマンスが得られない可能性があります。

送信機は次のように調整する必要があります。

送信機の設定が調整されている場合は、工場出荷時の設定にリセットします。

- 送信機の電源をオフにします。
- MENUとSETの両方を押し続けます。
- 送信機の電源をオンにします。
- MENUとSETを放します。送信機のLEDが赤く点滅します。
- SET を押して設定をクリアします。LED が緑色に点灯し、送信機がデフォルトに戻ります。

BL-2s セットアップ プログラミング (ESC と送信機のキャリブレーション)

始める前に、プログラミング手順をすべて読んでください。プログラミング中に迷ったり、予期しない結果が出たりした場合は、バッテリーを取り外し、数秒待ってからバッテリーを再度差し込み、最初からやり直してください。



- 完全に充電されたバッテリーパックを BL-2 に接続します。
- 送信機をオンにします (スロットルはニュートラルの位置)。
- EZ-Set ボタン (A) を押し続けます。LED が最初に緑色に変わり、次に赤色に変わります。EZ-Set ボタンを放します。
- LED が赤色で 1 回点滅したら、スロットル トリガーをフル スロットルの位置まで引いて、その位置で保持します (B)。
- LED が赤色で 2 回点滅したら、スロットル トリガーを完全に後進まで押して、その位置を保持します (C)。
- LED が緑色に 1 回点滅したら、プログラミングは完了です。LED は緑色または赤色に点灯し (低電圧検出設定によって異なります)、BL-2 がオンで中性 (D) にあることを示します。



BL-2の運用

速度制御とテスト プログラミングを操作したい場合は、車両を安定したブロックまたはスタンドの上に置き、すべての駆動輪が地面から離れている状態にします。モーター ワイヤを取り外します (12 ページを参照)。これにより、テスト中にモーターが車輪を駆動することがなくなります。モーター ワイヤを取り外せずにプログラミングをテストしないでください。

以下の手順 1 ~ 7 では、低電圧検出がアクティブ (工場出荷時の設定) になっており、LED が緑色に点灯していることに注意してください。低電圧検出が無効になっている場合は、以下の手順 1 ~ 7 で LED が緑色ではなく赤色に点灯します。低電圧検出が無効になっている間は、LiPo バッテリーを使用しないでください。

- 送信機の電源を入れ、EZ-Set ボタンを押して放します。LED が点灯します。緑色。BL-2 がオンになります。
- 前進スロットルを適用します。フルスロットルパワーに達するまで LED は消灯します。フルスロットルでは、LED が緑色に点灯します。
- トリガーを前方に動かしてブレーキをかけます。ブレーキ制御は完全に比例していることに注意してください。最大ブレーキ力に達するまで LED は消灯します。最大ブレーキ力に達すると、LED は緑色に点灯します。
- スロットルトリガーをニュートラルに戻します。LED が緑色に点灯します。
- スロットルトリガーを再度前方に動かして後進状態にします (プロファイル #1)。LED は消灯します。逆方向の電力が最大に達すると、LED は緑色に点灯します。



BL-2s仕様

入力電圧:
7.2~8.4V (6~7セル
NiMHまたは2セルLiPo)

サポートされているモーター:
BL-2s™ 3300

BEC電圧:
6.0V DC

バッテリーコネクタ:
Traxxas iD®高電流
コネクタ

熱保護:
2段階サーマルシャットダウン



お使いのモデルには、BL-2s ESC をシャーシに取り付けるための番号 2 の付いたアダプターがあらかじめ取り付けられています (これらのアダプターは別売りで、部品番号 10724 です)。

モデルを他の Traxxas ESC に交換する場合は、XL-5 の場合は番号 1、VXL-3 の場合は番号 3 のマークが付いた部品番号 10724 のアダプターを使用します。

特許取得済みのトレーニング モード (プロファイル #3) では、前進および後進のスロットルが 50% 削減されます。トレーニング モードは出力を低減し、初心者ドライバーがモデルをより適切に制御できるようにするために用意されています。

運転技術が向上したら、スポーツ モードまたはレース モードに切り替えるだけで、フルパワーで操作できます。

高速モード変更のヒント

BL-2s はデフォルトでプロファイル 1 (スポーツ モード) に設定されています。プロファイル 3 (トレーニング モード) にすばやく変更するには、送信機をオンにした状態で、EZ-Set ボタンを、ライトが赤く 3 回点滅するまで押し続け、その後放します。

フルパワーにするには、EZ-Set ボタンを長押ししてライトが 1 回赤く点滅したら放し、プロファイル 1 (スポーツ モード) にすばやく戻します。

BL-2s には、前進中に誤って後進

が作動したり、その逆が起こったりするのを防ぐためのプログラミングが組み込まれています。モーターを目的の方向に作動させるには、完全に停止し、スロットルトリガーを放してから、反対のスロットルを適用する必要があります。

- 停止するには、スロットルトリガーをニュートラルに戻します。後進から前進に切り替えるときには、プログラムされた遅延があることに注意してください。これにより、高牽引路面でのトランスミッションの損傷を防止できます。
- BL-2 の電源をオフにするには、LED が消えるまで (0.5 秒) EZ-Set ボタンを押します。

BL-2のプロファイル選択

速度制御は、工場出荷時にプロファイル #1 (100% 前進、ブレーキ、後進) に設定されています。後進を無効にする (プロファイル #2) か、前進 50%、後進 50% を許可する (プロファイル #3) には、以下の手順に従います。速度コントロールを受信機とバッテリーに接続し、送信機を前述のように調整する必要があります。

プロファイルは、プログラミング モードに入ることによって選択されます。

プロフィールの説明

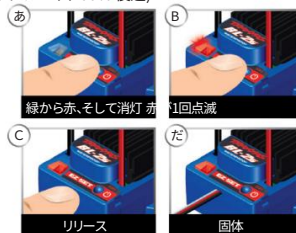
プロファイル #1 (スポーツモード): 100% 前進、100% ブレーキ、100% 後進

プロファイル #2 (レースモード): 100% 前進、100% ブレーキ、後進なし

プロファイル #3 (トレーニング モード): 前進 50%、ブレーキ 100%、後進 50%

スポーツ モードの選択(プロファイル #1: 100% 前進、100% ブレーキ、100% 後進)

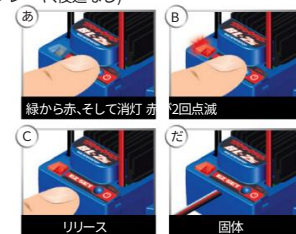
- 完全に充電されたバッテリーパックを BL-2 に接続し、送信機の電源をオンにします。
- BL-2 の電源をオフにして、EZ-Set ボタンを押し続けると、LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、その後赤色に点滅し始めます (プロファイル番号を示します)。



- LED が赤く 1 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅し、その後緑色 (低電圧検出アクティブ) または赤色 (低電圧検出無効) に点灯します。モデルは運転できる状態です。

レース モードの選択(プロファイル #2: 100% 前進、100% ブレーキ、後進なし)

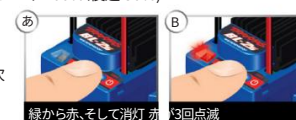
- 完全に充電されたバッテリーパックを BL-2 に接続し、送信機の電源をオンにします。
- BL-2 の電源をオフにして、EZ-Set ボタンを押し続けると、LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、その後赤色に点滅し始めます (プロファイル番号を示します)。



- LED が赤く 2 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅し、その後緑色 (低電圧検出アクティブ) または赤色 (低電圧検出無効) に点灯します。モデルは運転できる状態です。

トレーニング モードの選択(プロファイル #3: 前進 50%、ブレーキ 100%、後進 50%)

- 完全に充電されたバッテリーパックを BL-2 に接続し、送信機の電源をオンにします。
- BL-2 の電源をオフにした状態で、LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、その後赤色に点滅し始めるまで (プロファイル番号を示します)、EZ-Set ボタンを押し続けます。



- LED が赤く 3 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅し、その後点灯に変わります。
緑 (低電圧検出アクティブ) または赤 (低電圧検出無効)。モデルは運転する準備ができています。



注: 必要なモードを見つけた場合は、EZ-Set ボタンを押し続けます。ボタンを放してモードが選択されるまで、点滅サイクルが繰り返されます。

LED コードと保護モード



• 緑色点灯: BL-2s 電源オンライト。低電圧検出はアクティブ化 (LiPo 設定)。



• 赤色点灯: BL-2 の電源オン ライト。低電圧検出が無効になっています (NiCad/NiMH 設定)。低電圧検出が無効になっている間は、LiPo バッテリーを使用しないでください。



• ゆっくり点滅する赤色 (低電圧検出オン): BL-2 は低電圧保護モードになっています。バッテリー電圧が LiPo バッテリーパックの推奨最小放電電圧しきい値に達し始めると、BL-2 は出力を 50% スロットルに制限します。バッテリー電圧が最小しきい値を下回ろうとすると、BL-2 はすべてのモーター出力を停止します。

スピードコントロールの LED がゆっくりと赤く点滅し、低電圧シャットダウンを示します。BL-2 は、完全に充電されたバッテリーが接続されるまでこのモードのままです。• 赤の高速点滅: サーマル シャットダウン保護ステ



ージ 1。モーターの電力が通常より低く、BL-2 が熱い場合、BL-2 は過電流による過熱を防ぐためにステージ 1 サーマル シャットダウン保護モードになっています。モーターに電力が供給されておらず、BL-2 が非常に熱い場合、BL-2 はステージ 2 サーマル シャットダウン保護モードになっていて、自動的にシャットダウンしています。

BL-2 を冷まします。モデルが状況に適切に対応していることを確認してください (24 ページを参照)。• 非常に高速に点滅す



る赤色: サーマル シャットダウン保護と低電圧保護 (上記を参照) が同時に発生しています。



• 交互に点滅: 赤の次に緑の点滅: モーターに電力が供給されていない場合、BL-2s は過電圧保護モードになっています。電圧が高すぎるバッテリーを使用すると、BL-2s はフェイルセーフモードになります。警告: 入力電圧が約 20 ボルトを超えると、ESC が損傷する可能性があります。最大ピーク入力電圧の 12.6 を超えないようにしてください。



• 緑色の点滅: BL-2s は送信機のスロットルトリムが正しく設定されていないことを示しています。スロットルトリムを中央の「0」設定に調整します。

モデルの駆動

さあ、楽しみましょう！このセクションでは、モデルの運転と調整に関する手順を説明します。先に進む前に、覚えておくべき重要な注意事項をいくつか示します。• 走行の合間に、モデルを数分間冷まします。これは、長時間の走行を可能にする大容量 (2400mAh 以上) のバッテリー

ーパックを使用する場合に特に重要です。温度を監視すると、バッテリーとモーターの寿命が延びます。

• 電池残量が少ない状態で模型を操作し続けしないでください。制御不能になる可能性があります。電池残量が少ない場合、操作が遅くなり、サーボが鈍くなります (中心に戻るのが遅くなります)。電池残量がなくなった最初の兆候が現れたら、すぐに停止してください。送信機の電池が弱くなると、赤い電源ライトが点滅し始めます。すぐに停止して、新しい電池を取り付けてください。

• 夜間、公道、または人混みの中では運転しないでください。人々。

• モデルが物体に引っかかってしまった場合は、モーターを動かし続けしないでください。続行する前に障害物を取り除いてください。モデルで物体を押ししたり引っ張ったりしないでください。

• モデルは無線で制御されるため、制御できない多くのソースからの無線干渉の影響を受けます。無線干渉により、一時的に制御不能になる可能性があるため、衝突を防ぐために、モデルの周囲全方向に安全マージンを確保してください。

• モデルを運転するときは常に良識を持って運転してください。故意に乱暴な運転をすると、性能が低下したり、部品が壊れたりします。長く楽しんでいただけるよう、大切に扱ってください。

• 高性能車両は小さな振動を発生し、緩む可能性があります。ハードウェアは時間の経過とともに劣化します。車両のホイールナットやその他のネジを頻繁に点検し、すべてのハードウェアが適切に締められていることを確認してください。

実行時間について

動作時間に影響を与える大きな要因は、バッテリーの種類と状態です。バッテリーのミリアンペア時間 (mAh) 定格によって、「燃料タンク」の大きさが決まります。3000 mAh バッテリーパックは、理論上、1500 mAh スポーツパックの2倍の稼働時間になります。利用できるバッテリーの種類や充電方法にはさまざまなバリエーションがあるため、モデルの正確な稼働時間を示すことは不可能です。

走行時間に影響を与えるもう1つの主な要因は、モデルの運転方法です。モデルが停止状態から最高速度まで繰り返し運転され、急加速が繰り返されると、走行時間が短くなる可能性があります。

実行時間を延ばすためのヒント

- 購入できる最高の mAh 定格のバッテリーを使用してください。
- 高品質のピーク検出充電器を使用してください。• バッテリーと充電器の製造元が提供するメンテナンスとお手入れの手順をすべて読んで従ってください。
- BL-2 を涼しい状態に保ちます。ESC ヒートシンク全体に十分な空気の流れを確保します。• バッテリーに適した低電圧検出設定を使用します (19 ページを参照)。低電圧検出がオフになっている間は、LiPo バッテリーを使用しないでください。• ギア比を下げます。小さなピニオンまたは大きなスパーギアを取り付けると、ギア比が下がり、モーターとバッテリーからの電力消費が減り、全体的な動作温度が下がります。
- モデルのメンテナンスを行ってください。汚れや破損した部品によってドライブトレインが固まらないようにしてください。モーターを清潔に保ってください。

mAh 定格と出力

バッテリーの mAh 定格は最高速度のパフォーマンスに影響する可能性があります。容量が大きいバッテリーパックは、低 mAh 定格のパックよりも、高負荷時の電圧降下が少なくなります。電圧のポテンシャルが高いほど、バッテリーが放電し始めるまで速度を上げることができます。

雨天時の走行

新しい Traxxas モデルは、モデル内の電子機器 (受信機、サーボ、電子速度制御) を保護するために防水機能を備えて設計されています。これにより、水たまり、濡れた草、雪、その他の濡れた条件でモデルを自由に運転して楽しむことができます。モデルは防水性に優れていますが、水中に沈められるか、完全に 100% 防水であるかのように扱わないでください。防水は、取り付けられた電子部品にのみ適用されます。濡れた条件で運転する場合は、金属部品の腐食を防ぎ、適切な機能を維持するために、機械部品と電気部品の追加のケアとメンテナンスが必要です。

予防

- 適切な手入れをしないと、モデルの一部が水に触れて深刻な損傷を受ける可能性があります。濡れた状態で運転後は、モデルの性能を維持するために追加のメンテナンス手順が必要になります。追加の手入れとメンテナンスの責任を受け入れたくない場合は、濡れた状態でモデルを運転しないでください。
- すべてのバッテリーが湿った環境で使用できるわけではありません。バッテリーが湿った環境で使用できるかどうかについては、バッテリーの製造元にお問い合わせください。
- Traxxas TQ 2.4GHz 送信機は防水ではありません。雨などの濡れた場所に置かないでください。
- 暴風雨や雷が発生する可能性のあるその他の悪天候時にはモデルを操作しないでください。

- モデルを塩水 (海水)、汽水 (淡水と海水の間)、またはその他の汚染された水に接触させないでください。塩水は導電性が高く、腐食性も非常に高いです。モデルをビーチの上または近くで動作させる場合は注意してください。

- たとえ水に少し触れただけでも、モーターの寿命が短くなることがあります。モーターの寿命を延ばすには、濡れた路面ではギアや運転スタイルを変更するなど、特別な注意が必要です (詳細は後述)。

濡れた路面で車を運転する前に

1. 続行する前に、「濡れた路面での走行後」のセクションを参照してください。濡れた路面での走行に必要な追加のメンテナンスについて理解してください。

2. ホイールには、通常の走行中に空気が入り出せるように小さな穴があけられています。タイヤに穴がけられていない場合、水がこれらの穴に入り込み、タイヤ内に閉じ込められます。各タイヤに2つの小さな穴 (直径 3 mm または 1/8 インチ) を開けます。各穴はタイヤの中心線の近くに、180 度間隔であけます。

3. 受信機ボックスカバーが正しく取り付けられていることを確認し、

しっかり固定してください。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

4. バッテリーが濡れた状態でも使用できることを確認します。

モーターの注意事項

- 泥や水の中ではモーターの寿命が大幅に短くなることがあります。モーターが過度に濡れたり水没したりした場合は、余分な水がなくなるまでスロットルを非常に軽くして (モーターをゆっくり回して) ください。水がいっぱいのモーターにフルスロットルをかけると、モーターが急速に故障する可能性があります。濡れたモーターの場合、運転習慣がモーターの寿命を決定します。モーターを水没させないでください。

- 濡れた状態で運転しているときは、温度によってモーターをギアリングしないでください。モーターは水に触れると冷却され、適切なギアリングを正確に表示できなくなります。

濡れた路面で車を運転した後

1. タイヤを高速回転させて「スリング」し、タイヤの水を抜きます。水を排出します。これを行う1つの方法は、可能であれば、平らで乾燥した表面で高速で数回洗浄することです。
2. 電池を取り外します。

3. 低圧水でトラックの余分な汚れや泥を洗い流します。庭のホースなどから水をかけないでください。高圧洗浄機やその他の高圧水は使用しないでください。ベアリングやトランスミッションなどに水が直接かからないようにしてください。

4. 圧縮空気でトラックを吹き飛ばす (オプションですが、推奨)。圧縮空気を使用するときは安全メガネを着用してください。

5. トラックから車輪を取り外します。

6. ベアリング、ドライブトレイン、ファスナーすべてにWD-40®または同様の水置換軽油。

7. トラックをそのままにしておく、圧縮空気で吹き飛ばされる可能性があります。トラックを暖かく日当たりの良い場所に置くと、乾燥が促進されます。トラックに閉じ込められた水と油は、数時間にわたってトラックから滴り続けます。下面を保護するために、タオルまたは段ボールの上に置きます。

8. 予防措置として、受信機ボックスの上部からゴム製のプラグを外し、水や湿気が溜まっていないう確認します。可能性は低いですが、濡れた状態で運転すると、湿気や微量の水分、結露が受信機ボックスに入ることがあります。これにより、受信機内の繊細な電子機器に長期的な問題が生じる可能性があります。

水が入っている場合は、保管中にゴム栓を外して内部の空気を乾燥させてください。この手順により、受信機の長期的な信頼性が向上します。

9. 追加メンテナンス: 以下の項目の分解、点検、および潤滑の頻度を増やしてください。これは、長期間の濡れた状態での使用後、または車両を長期間 (1 週間以上など) 使用しない場合に必要です。

この追加のメンテナンスは、閉じ込められた水分が内部の鉄鋼部品を腐食するのを防ぐために必要です。

- スタブ アクスル ハウジング ベアリング: ベアリングを取り外し、清掃し、再度オイルを塗りま
- す。
- 平歯車とピニオン歯車: 歯車の摩擦、歯の破損、歯の間に挟まった異物がないか点検しま
- す。歯車に潤滑油を差す必要はありません。

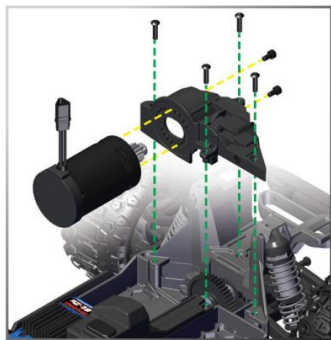
- モーター: モーターを取り外して清掃します。ベアリングに軽量モーターオイルを再度注入します。

モデルの調整

モデルの運転に慣れてきたら、運転パフォーマンスを向上させるために調整が必要になる場合があります。

ギアメッシュの調整

ギアの噛み合いが正しくないことが、平歯車が剥がれる最も一般的な原因です。Mini Maxx には、プロセスを簡素化した適切なギア噛み合い設定を保证する固定ギア位置決めシステムが搭載されています。



ギアカバーから4つの3x12mm ボタンヘッドキャップネジを取り外して、ギアにアクセスします。

モーター/ギアカバーアセンブリをシャーシから取り外します。

ギアメッシュを設定するには、右の表を使用して、選択したモーターピニオン (15T - 23T) とスパーギアサイズ (47T) に対応するギアカバー (AI) のネジの位置を確認します。モーター/ギアカバーから2本のネジを取り外し、対応する位置に再度取り付けます。モーター/ギアカバーアセンブリをシャーシに再度取り付けます。

ショックマウント位置

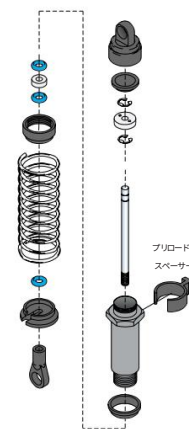
このモデルには、サスペンションを調整できるように、取り付け位置を変更できる調整可能なショックアブソーバーが装備されています。

あらゆる運転条件で優れたハンドリングとパフォーマンスを発揮するように設計されています。過酷なオフロード走行の場合は、下部ショックアブソーバーを位置1 (内側の穴) に移動します。



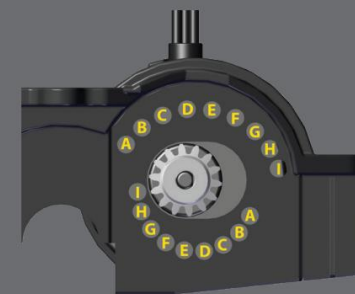
ショックアブソーバーの微調整

このモデルの4つのショックアブソーバーは、ハンドリングに大きく影響します。ショックアブソーバーを組み直すとき、またはピストン、スプリング、オイルを変更するときは、必ずペアで変更してください (フロントまたはリア)。ピストンの選択は、使用可能なオイル粘度の範囲によって異なります。たとえば、軽量オイルで2穴ピストンを使用すると、ある時点では、重いオイルで3穴ピストンを使用した場合と同じ減衰が得られます。



3穴ピストンには、10W から 80W までの粘度範囲のオイル (ホビーショップで入手可能) を使用することをお勧めします。粘度の低いオイル (30W 以下) は、よりスムーズに流れ、一貫性が増し、粘度の高いオイルは、より減衰力を高めます。シール寿命を延ばすには、100% 純粋なシリコン ショック オイルのみを使用してください。工場出荷時には、フロント ショックとリア ショックに 20W オイルが充填されています。

車高を調整して、サスペンションアームが地面と平行になる位置より少し上に来るようにします。モデルがカーブでどのように動くかを観察します。適切な設定により安定性が増し、スピナウトを防ぐことができます。さまざまなスプリングとショックオイルを試して、現在のトラック状況に最適なものを見つけてください。



ネジの位置

平歯車

	47
15A	
16	B
17	C
18	
19	
20	ふ
21	グ
22	H
23	

工場出荷時のギアリング

ギアリング互換性チャート:
以下の表は、お使いのモデルに推奨
されるギアの組み合わせ範囲を示しています。

平歯車

	47
15	12.27
16	11.51
17	10.83
18	10.23
19	9.69
20	9.20
21	8.77
22	8.37
23	8.00

箱から出してすぐに使えるセットアップ。ほとんどのラン
ニングに推奨。2s LiPo

2s LiPo の使用可能なギア範囲。
トルクと稼働時間が向上します。

滑らかな硬い路面での高速走行。2s LiPo

サーボの中心合わせ

モデルのステアリング サーボからサーボ ホーンを取り外した場合、またはサーボがサービ
スやクリーニングのために取り外された場合は、サーボ ホーンを取り付ける前、またはサー
ボをモデルに取り付ける前に、サーボを再び中心に配置する必要があります。

1. ステアリングサーボからサーボホーンを取り外します。
2. ステアリング サーボを受信機のチャンネル 1 に接続します。電子速度制御 (ESC) をチ
ャンネル 2 に接続します。サーボ リードの白いワイヤーは受信機の LED に向かって配
置されます。
3. 送信機に新しい「AA」電池を入れ、
送信機の電源スイッチをオンにします。
4. 送信機のステアリングトリムノブを中央の「0」の位置に回します。
5. モーターの故障を防ぐためにモーター配線を外します (12ページを参照)。
次のステップ中に回転しないようにします。
6. 新しいバッテリーパックをスピードコントロールに接続し、ESC をオンにします (19 ペー
ジを参照)。サーボの出力シャフトは自動的に中央の位置にジャンプします。
7. サーボホーンをサーボ出力軸に取り付けます。サーボホーンはシャーシの中心を向き、サ
ーボ本体に対して垂直になるようにします。
8. ステアリング ホイールを前後に回してサーボの動作を確認し、メカニズムが適切に
中心に配置され、両方向へのストロークが均等であることを確認します。送信機のス
テアリング トリム ノブを使用してサーボ ホーンの位置を微調整し、ステアリング ホイ
ールがニュートラルのときにモデルがまっすぐに追従するようにします。

モーターとギア

このモデルのトランスミッションの大きな利点の 1 つは、非常に幅広いギ
ア比が利用できることです。非常に高温になる改造モーターを動作させるのに十分な低ギ
ア比を実現できます。

改造モーターは、より高い回転数で最大出力に達するため、標準モーターよりも低いギア比
(数値的には高い)にする必要があります。ギア比が間違っている改造モーターは、実際
には正しくギア比が設定されている標準モーターよりも遅くなることがあります。次
の式を使用して、リストされていない組み合わせの全体的な比率を計算します。

ギアチャート:

$$\frac{\# \text{ 平歯車の歯}}{\# \text{ ピニオンギアの歯}} \times 3.92 = \text{最終ギア比}$$

ギア比が高すぎるのではないかと心配な場合は、バッテリー バックとモ
ーターの温度を確認してください。バッテリーが非常に熱くなっている場合、またはモー
ターが触れないほど熱い場合は、モデルがギア比が高すぎる可能性があります。
バッテリーが切れるまでに少なくとも 4 分間モデルを動作させることができない
場合は、ギア比を低く変更してください。
この温度テストでは、モデルが工場出荷時の重量に近く、過度の摩擦、引きずり、拘束が
なく自由に動作し、バッテリーが完全に充電され、良好な状態であることを前提と
しています。

このモデルには、BL-2s 3300kV モーターが搭載されています。各モデルに標準
装備されているギアの組み合わせにより、全体的な加速と最高速度が向上します。最高速
度を上げ、加速を抑えたい場合は、オプションの高速ギア (歯数が多い、別売り) を取り
付けてください。オプションの高速ギアは、硬い路面での高速走行を目的としており、オ
フロードや繰り返しの発進と停止には推奨されません。

BL-2s 3300kV モーターには、中速から高速運転時に効果的な統合冷却ファンが装
備されています。ギアボックスには、モーターを冷却するための特別な通気口がありま
す。短距離で始動と停止を繰り返すと、過剰な熱が発生し、ファンがモーターを適切に冷却
できなくなります。このタイプの運転では、モーターの負荷を軽減するために、より小さなピ
ニオン ギアが推奨されます。

ホイールとタイヤ

市販のタイヤやホイールの多くは、モデルに適応させることができます。そのほとんどは、モデルの全体の幅とサスペンション ジオメトリに影響します。モデルのホイールに設計されたオフセットと寸法は意図的なものです。そのため、Traxxas は、仕様が異なる他の Traxxas 以外のホイールの使用を推奨することはできません。ホイールの直径は革新的な設計で、モデルに付属のタイヤ (パーツ リストに記載) に加えて、さまざまなタイヤを試すことができます。モデルを走行させる地形でどのタイヤが最もよく機能するかを確認するために、さまざまな種類のタイヤを試してみることをお勧めします。タイヤを選択するときは、全体の直径とゴム コンパウンド (ハードまたはソフト) を考慮してください。タイヤの全体の直径が大幅に大きい場合は、大きいタイヤを補うために、より小さなピニオン ギアを使用する必要があります。短いスパイクが多数付いたソフト コンパウンド タイヤは、通常、硬くて乾燥した路面でよりよく機能します。緩い土では、大きなスパイクが付いたタイヤの方が性能が高くなります。アクセサリ ホイールとタイヤについては、パーツ リストを参照してください。

密閉ギアの調整 差額

サスペンション システムを大幅に分解したり取り外すことなく、フロントとリアのギア デファレンシャルの動作をさまざまな運転条件やパフォーマンス要件に合わせて調整できます。

工場出荷時のデファレンシャルは、長期にわたって一貫した性能を維持するために密封されています。デファレンシャルのオイルを低粘度または高粘度のオイルに交換すると、デファレンシャルの性能特性が変わります。デファレンシャルのオイルを高粘度に交換すると、モーターのパワーが最もトラクションの少ないホイールに伝達される傾向が減ります。滑りやすい路面で急カーブを曲がるときに、このことに気づくかもしれません。カーブの内側にある無負荷のホイールは、トラクションが最も少なく、非常に高い RPM まで回転する傾向があります。粘度が高い (濃い) オイルを使用すると、デファレンシャルはリミテッド スリップ デファレンシャルのように動作し、左右のホイールに均等にパワーを配分します。Mini Maxx は、一般的に、トラクションの低い路面での登坂、岩登り、レースのときに、高粘度オイルの恩恵を受けます。

注意: 重いオイルを使用すると、1 つまたは複数のタイヤが地面から離れていても動力が伝達されます。これにより、牽引力の高い路面では車両が横転する可能性が高くなります。

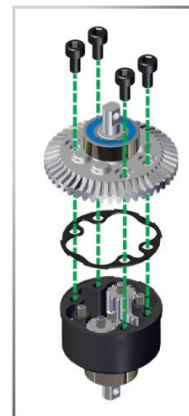
工場出荷時には、フロント デファレンシャルにはグリースが充填されており、リア デファレンシャルには SAE 30,000W シリコン デファレンシャル オイルが充填されています。

デファレンシャルにはシリコン オイルのみを使用してください。Traxxas は SAE 10,000W、30,000W、および 50,000W 粘度のオイルを提供しています (部品リストを参照してください)。

デファレンシャルを車両から取り外す必要があり、オイル交換のために分解します。分解/組み立てのプロセスを支援するために、モデルに付属の分解図を使用してください。

デファレンシャルの補充:

- 2.5x10mm のキャップ スクリュー 4 本を外して、デファレンシャル ケースとリング ギアを引き離します。タオルの上で作業し、デファレンシャルから滴り落ちる液体をすべて集めます。
- デファレンシャルから液体を排出します。作業を容易にするために、デファレンシャルから遊星ギアを取り外すこともできます。
- 遊星ギアをデファレンシャルケースに戻します (取り外した場合)。デフケースに液体を充填し、遊星歯車は半分ほど水没しています。
- リング ギアとデファレンシャル ケースを再度結合し、ネジ穴の位置を慎重に合わせます。ガスケットが所定の位置にあることを確認してください。ガスケットがないと、デファレンシャルから漏れる場合があります。
- 2.5x10mm のキャップスクリューを取り付け、しっかりと締めます。



モデルのメンテナンス

モデルを最高の動作状態に保つには、定期的なメンテナンスが必要です。次の手順を慎重に実行する必要があります。

車両に明らかな損傷や摩耗がないか点検します。次の点に注意してください。

1. ひび割れ、曲がり、または損傷した部品
2. ホイールとステアリングが固着していないか確認します。
3. ショックアブソーバーの動作を確認します。
4. 配線が擦り切れていたり、接続が緩んでいないか確認します。
5. 受信機とサーボの取り付けと速度制御を確認します。
6. レンチを使用してホイールナットの締め付け具合を確認します。
7. 無線システムの動作、特に電池の状態を確認します。
8. シャーシ構造またはサスペンションのネジが緩んでいないか確認します。
9. ステアリングサーボの動作を確認し、固着していないことを確認します。
10. ギアの摩耗、歯の破損、ゴミの詰まりを点検する歯の間に。

その他の定期メンテナンス:

- シャーシ: シャーシに蓄積した汚れやほこりを取り除いて清潔に保ちます。シャーシに損傷がないか定期的に点検してください。
- ステアリング: 時間が経つにつれて、ステアリングの緩みが増すことがあります。ステアリングシステム。使用により摩耗する部品がいくつかあります。必要に応じてこれらの部品を交換し、工場出荷時の許容範囲に戻してください。ベルクランク プッシングは、5x8mm および 5x10mm のボール ベアリング (部品番号 5114A および 5115A) に交換できます。

• ショックアブソーバー: ショックアブソーバーのオイルレベルを常に満タンに保ってください。100%のみを使用してください。

純粋なシリコンショックオイルはシール寿命を延ばします。ショックの上部付近で漏れが生じている場合は、トップキャップのブラダーを点検し、締めすぎによる損傷や歪みの兆候がないか確認してください。ショックの下部から漏れている場合は、再構築が必要です。2 つのショック用の Traxxas 再構築キットは、部品番号 2362 です。

• サスペンション: モデルに損傷の兆候がないか定期的に点検してください

曲がったり汚れたりしたサスペンション ビン、緩んだネジ、ストレスや曲がりの兆候など、問題の原因となる要素がないか確認してください。必要に応じてコンポーネントを交換してください。

- ドライブライン: ドライブラインに摩耗の兆候がないか点検します。摩耗したドライブ ヨーク、汚れた車軸ハーフ シャフト、異常なノイズや固着がないか点検します。U ジョイントが外れた場合は、部品を交換する必要があります。ピニオン ギアの止めネジの締め具合を確認します。必要に応じて、コンポーネントを締めたり、清掃したり、交換したりします。

ストレージ

その日の模型の走行が終わったら、圧縮空気で吹き飛ばすか、柔らかい毛のペイントブラシを使用して車両のほこりを落とします。

モデルを保管するときは、必ずモデルからバッテリーを外してください。モデルを長期間保管する場合は、送信機からもバッテリーを取り外してください。



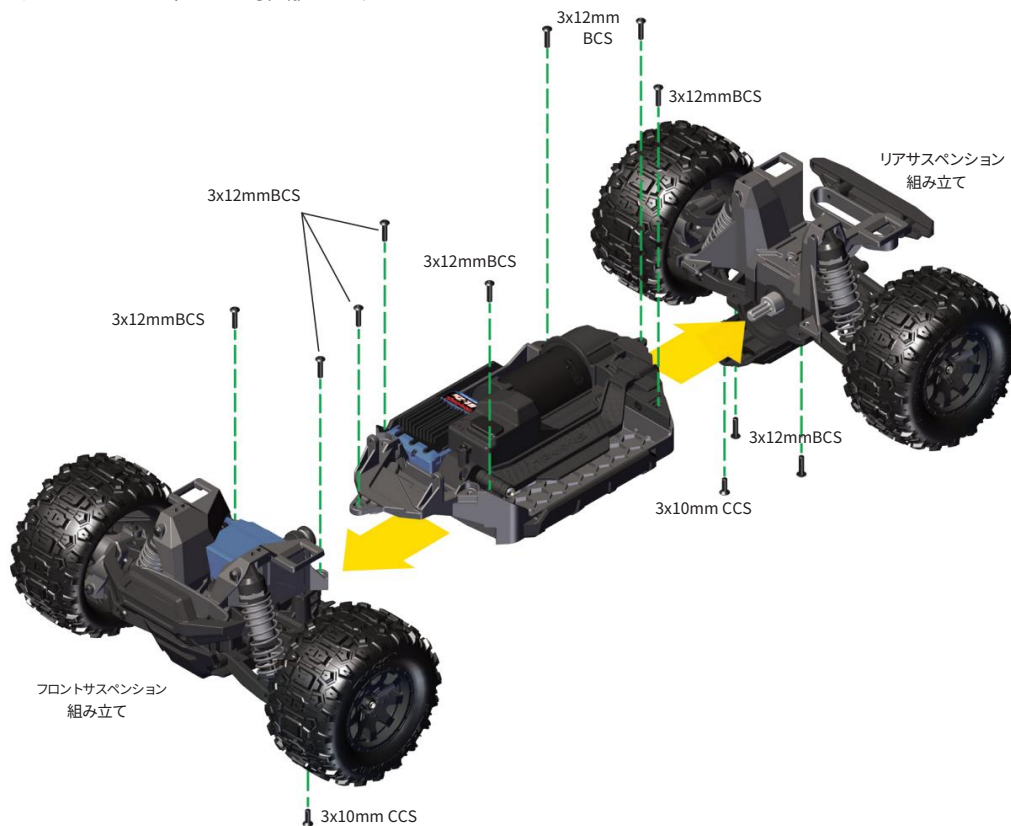
Mini Maxx は、簡単に分解できることを念頭に置いて設計されています。数本のネジを外すだけで、フロントおよびリアのサスペンション アセンブリ全体をシャーシから完全に取り外すことができます。完全な組み立て図については、モデルのサービスおよびサポート ガイドに含まれている分解図を参照してください。

フロントサスペンションモジュールの取り外し

1. シャーシの上部から 5 本の 3x12mm ボタンヘッド キャップ ネジを取り外します。
2. スキッドプレートの背面から 2 本の 3x10mm 皿頭ネジを取り外します。
3. ステアリングドラッグリンクから3x15mmボタンヘッドキャップスクルーを取り外します。
4. フロントサスペンションアセンブリをシャーシから引き離します。

リアサスペンションモジュールの取り外し

1. シャーシの上部から 3 つの 3x12mm ボタンヘッド キャップ ネジを取り外します。
2. 下部後部バルクヘッドから 3x12mm ボタンヘッドキャップネジ 2 本を取り外します。
3. スキッドプレートの前面から 3 つの 3x10mm 皿頭ネジを取り外します。
3. リアサスペンションアセンブリをシャーシから引き離します。



MINI MAVOK[®]

取扱説明書

TRAXXAS

6250 TRAXXAS WAY、マッキニー、テキサス州 75070

1-888-トラクサス